



自損患者の実態分析に関する研究

2006年1月1日から2022年12月31日の間に自損行為のために当院にて入院治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「自損患者の実態分析に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに施設長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2006年1月1日から2022年12月31日までに日本医科大学付属病院高度救命救急センターに、自損行為のために入院治療を受けられた患者さんの実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：自損患者の実態分析に関する研究
研究期間：2020年8月26日～2026年3月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 精神神経科 館野 周

(2) 研究の意義、目的について

本研究は、日本の自殺者が減少する前と後の患者さんの比較を行うことで、自殺が減少した要因（特に精神科医療が関与している可能性）を明らかにすることを目的として実施します。また、自損行為に影響する原因・動機について調査を行い、実態を明らかにすることを目的とします。研究の成果によって、今後の効果的な自殺対策立案に役立てる知見が得られる可能性があり、社会的意義があります。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2006年1月1日から2022年12月31日の間日本医科大学付属病院高度救命救急センターに、自損行為のために入院治療を受けられた患者さんを対象に、診療によって得られた情報を元に以下の情報をまとめます。診療によって得られた情報のみを用いますので、患者さんへの新たなご負担はございません。

試料：なし

情報：年齢、性別、精神科診断、自殺企図手段、精神科受療状況、自損行為の原因・動機、入退院日、精神科介入期間、救命センター退院時の転帰、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 精神神経科 部長 館野 周
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6789
メールアドレス：amtateno@nms.ac.jp